

平成31年1月11日
独立行政法人農畜産業振興機構

養豚経営安定対策事業（豚マルキン）の養豚補填金について
【平成30年度第1～3四半期】

平成30年4月1日から12月29日までに販売された事業対象肉豚に適用する養豚経営安定対策事業実施要綱第4の2の（7）のアの（イ）の養豚補填金の概算払（注）については、平成30年度第1～3四半期（平成30年4月から12月まで）の平均粗収益が同期間における平均生産コストを上回る見込みとなったことから行いません。

なお、養豚補填金単価の確定値については、2月上旬に公表する予定です。

（注）養豚補填金の概算払は、30年度の事業参加申込書において、「早期補てん」を選択した養豚事業者が対象です。

（参考）養豚経営安定対策事業実施要綱 第4の2の（7）のエ養豚補填金の交付

機構は、（4）のイの（ア）に基づき養豚補填金の交付対象となる全ての期間の生産者負担金を納付した養豚事業者に対し、当該交付対象期間中に販売された事業対象肉豚であって、生産者負担金が納付されたものの頭数に養豚補填金単価（養豚補填金単価の公表より前に見込単価による概算払を希望する養豚事業者に対して養豚補填金を交付する場合は見込単価）を乗じて得た額の養豚補填金を交付するものとする。また、見込単価による概算払を受けた養豚事業者に対し、当該概算払の額と養豚補填金単価による額との差額を交付するものとする。

連絡先

畜産経営対策部 養豚経営課

担当：高城、池田、工藤

電話：03-3583-1150

**補填金単価
(概算払)**

養豚経営安定対策事業 補填金単価(概算払)算定基礎
【平成30年度第1～3四半期】

(単位：円/頭)

平均粗収益	(A)	36,609
平均生産コスト	(B)	33,496
差額	(C) = (A) - (B)	3,113
補填金単価(概算払)		(A) > (B) 補填なし

注:1 補填金単価(概算払)は、配合飼料価格安定制度の変更に伴い、平成26年度から当該四半期(通期算定にあつては最後の四半期)の補填金がないと仮定して算定しています。なお、100円未満の場合は概算払を行いません。

注:2 平成26年度第1四半期分から、消費税抜きで算定しています。

(単位：円/頭)

区 分		平成30年度第1～3四半期 (30年4月～12月)
平均粗収益	(A) = ①+②	36,609
主産物価格	① = a × b	35,796
平均枝肉価格(円/kg)	a	471
平均枝肉重量(kg)	b	76.0
副産物価額	②	813
平均生産コスト	(B) = ⑤+⑥+⑦+⑧	33,496
物財費	③	26,962
飼料費		19,566
流通飼料費		19,564
麦類		19
とうもろこし		456
配合飼料		16,852
脱脂乳・人工乳		1,179
その他		1,058
牧草・放牧・採草費		2
敷料費		105
光熱水料及び動力費		1,658
その他の諸材料費		46
獣医師料及び医薬品費		1,935
賃貸料及び料金		250
建物費		1,178
自動車費		232
農機具費		697
物件税及び公課諸負担		171
生産管理費		127
種付料		125
もと畜費		19
繁殖めす豚費		733
種おす豚費		120
労働費	④	4,280
家族		3,428
費用合計	⑤ = ③ + ④	31,242
支払利子	⑥	104
支払地代	⑦	9
と畜経費	⑧	2,141
参考	自己資本利子	539
	自作地地代	84